

造形デザイン入門(平面造形)レポート

<デザインするもの>

COSTA COFFEE(コスタコーヒー)

参考文献↓

<https://c.cocacola.co.jp/costacoffee/>



<キャラクターイメージ>

- イギリス・ロンドンらしいキャラ。
- リラックス感、落ち着いた、高級な感じ
- コーヒーとの関連

→そうだ、羊を描こう。(そうはならんやろ)

そして、執事服を着せよう。(!?)

<なぜ羊を選んだのか>

- ・ イギリスの歴史の中で、紡績業は重要な役割を占め、

羊がいなかったら今の産業革命は起こらなかった。

- ・ コーヒーを発見したのは山「羊」とも。(エチオピア：カルディの伝説)

※山羊と羊は違いますが類似性から連想

- ・ 羊の目ってコーヒー豆に似ていないか？いや、似ている。
- ・ 羊と執事の音の類似性
- ・ 頭のくるくるした角…コーヒーみたい…？

↓ テレビ CM(15s 版)9,10 秒あたり。

<https://www.youtube.com/watch?v=CNzIFNGZMx0&t=11s>

<なぜ執事を選んだのか>

- ・ イギリスといえば王室のイメージ、

そこにはきっと素敵な執事さんが…

- ・ なおかつ、高級感や高貴な方にしか執事さんはつかない
- ・ コーヒーとか入れてくれそう
- ・ 執事と羊の音の類似性

ところで…

<羊(+執事服)を描いてみる>

私は普段絵を描かないので、無理をせず、

まずは画像を見ながら書いて特徴をつかもうと試みた

↓斜め、横、正面から書いてみた(なおこの角をアモン角というらしい)



山羊には目のところの臭腺がないらしい 斜め難しい↑

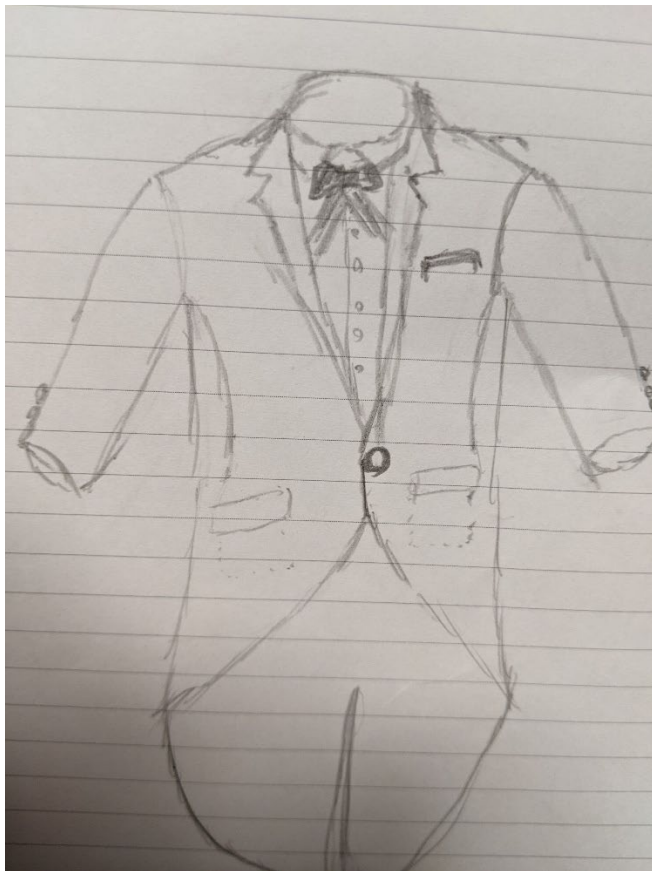


意外とごつい脚

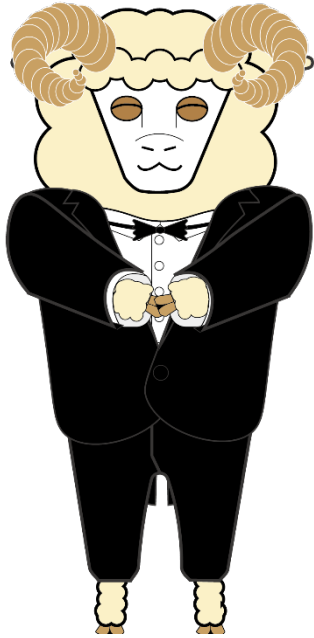
そこから要素を抜き出して少し簡略化した。



執事服(燕尾服)も書いたが、意外と全面の資料が無く苦戦した。

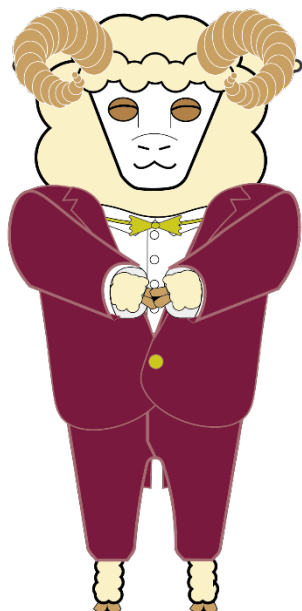


<illustrator を用いて作成>



↑ 先ほど挙げた要素をもとにひとまず作成した。

羊が執事服を着ているだけでコストコーヒー要素がない。

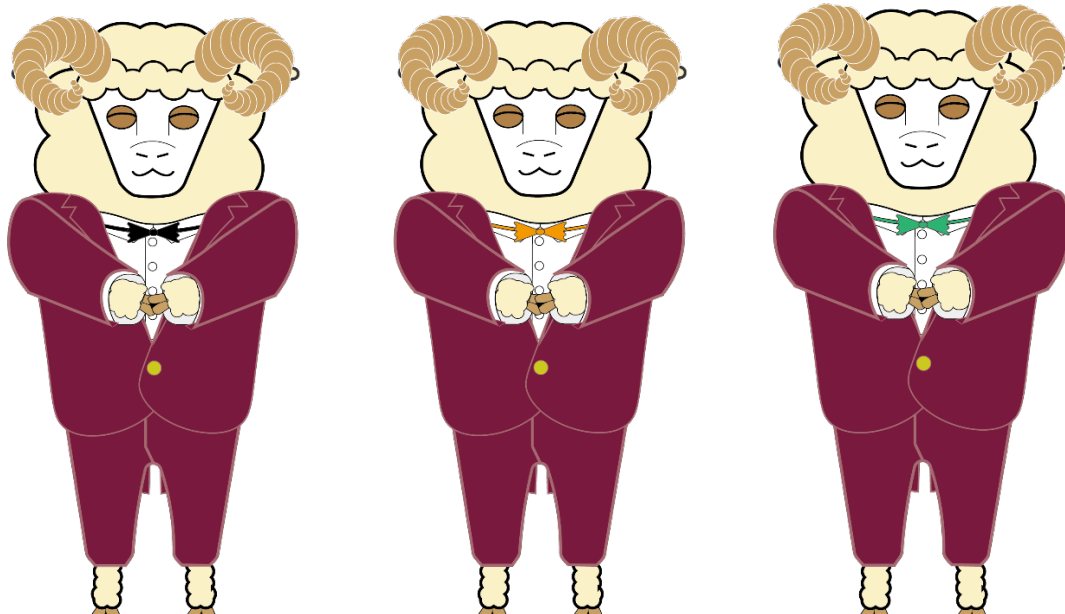


← カラーリングをパッケージカラーに、

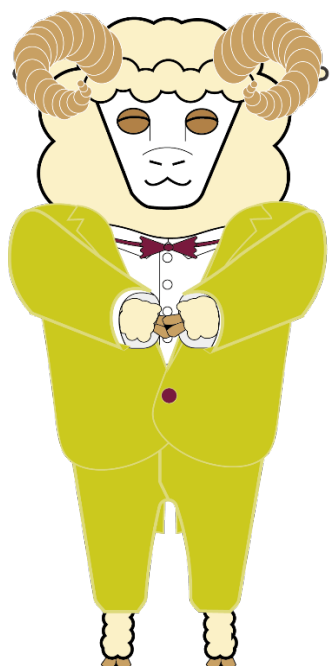
これでコストコーヒーらしい雰囲気になった。

<カラーリング>

ネクタイの色を変更、ブラック、カフェラテ、エスプレッソラテ風

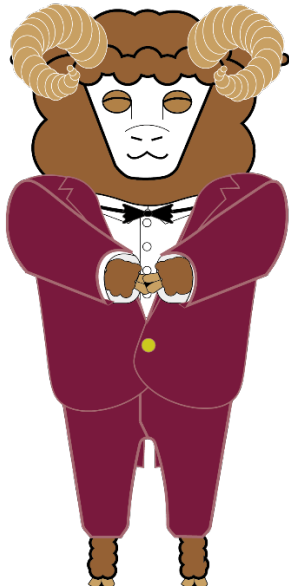


黄(商品の緑)と赤(ラベルの大部分)を逆転、既視感がある



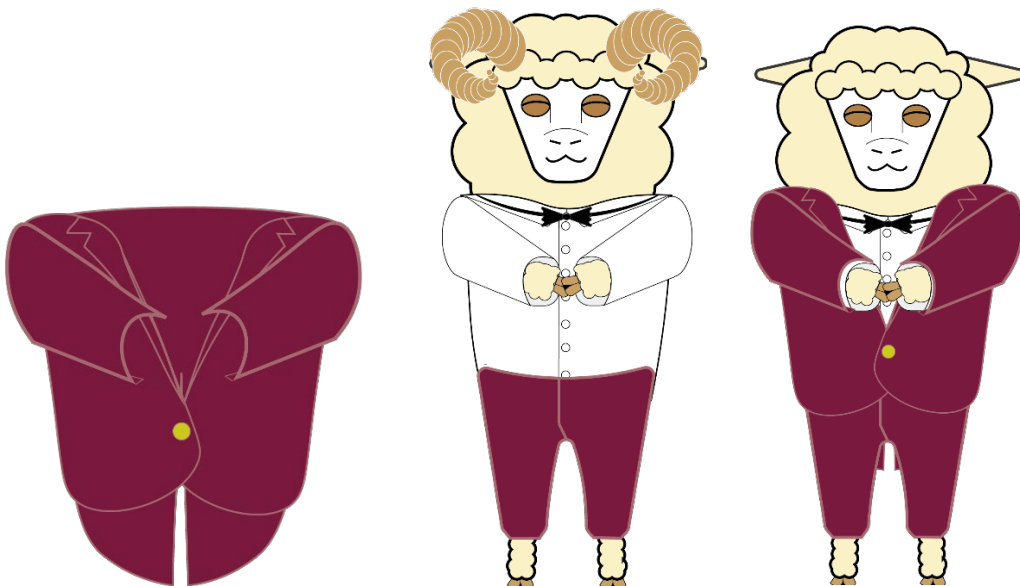
ダンディな芸人がチラつく(ゲッツ!)

思い切って毛の色も変えてみる。



何かが違う気がする。

毛の生えた脚とヒズメとの境界がぼんやりしてしまう気がする。



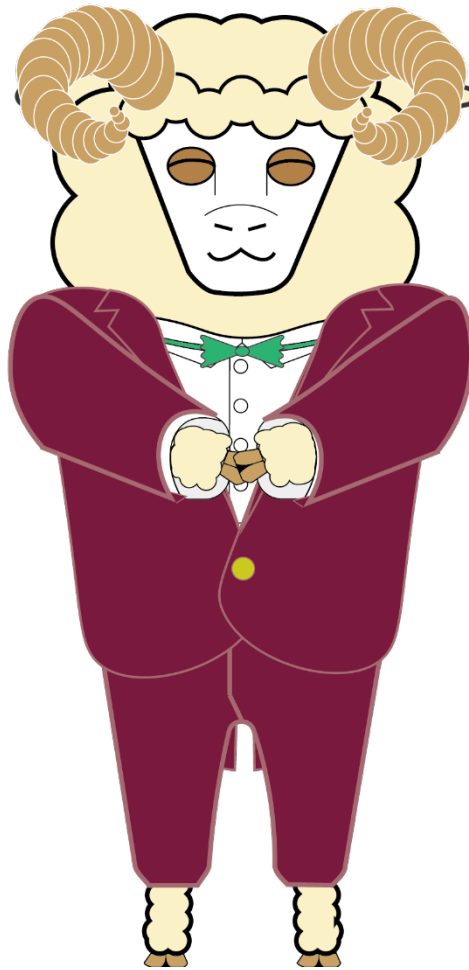
ワイシャツ ver.もカジュアルで悪くはないかもしれない。角がないとすっきりする。

なお、服を羊に着せるとなると巻物のような服が必要になりそうだ。

<結果>

考えた結果、今回はこちらにしたいとおもう。

エスプレッソラテのイメージだが、ネクタイの緑は赤の補色らしく個人的にも好みだ



- コーヒー豆のようなかわいらしい目
- コーヒーが注がれてる時のカップのようなアモン角
- コスタコーヒーのラベルのカラーと同じ深い赤の燕尾服
- 全体を引き締めるエスプレッソラテのラベルの緑色の蝶ネクタイ
- …意外と着やせするタイプ？実際はもこっとしてしまいそう。
- 細かなポケットなどは分かりづらそうなため省いた

無論、商品によって違うカラーリングを使うのもよいと考えている。